

■課題の整理

概略路線決定の基本方針 ルート	①地域の特性を生かした特長あるルートとする ・優れた歴史文化資源の活用配慮したルートを選定する ・多様な自然とのふれあいができるルートを選定する ・地域の歩道や街道の活用配慮したルートを選定する	②長距離自然歩道のネットワークを形成する ・既存の長距離自然歩道と一体的利用可能なルートを選定する ・全国ネットワークの観点から、密度的バランスや地域特性を生かした路線形態に配慮する ・周辺地域の長距離自然歩道との接続に配慮する	③より多くの利用者が容易に利用できるルートとする ・公共交通機関あるいは自動車・船による到達性に配慮したルートを選定する ・宿泊施設あるいは野外レク利用拠点などを活用したルートを選定する	④その他
課題	・利用の状況を考慮に入れながら、利用が多い地域の自然景観の保全、自然が豊かな地域における動植物資源の保護と自然とのふれあいに資する適切な整備を行っていく必要がある。 (保全・利用・整備)	・特にビジターがゆっくと歩きながら自然を楽しめる連続性のある歩道が必要である。 (整備)	・公共交通機関あるいは自動車・船による到達性に配慮したルートの選定、施設の整備をする必要がある。 (整備) ・路線毎の特性に合せた安全に利用できる歩道が必要である。 (整備) ・近畿自然歩道等が十分活用されその魅力が伝わるように、ホームページ、ビジターセンター、標識、パンフレット、インタープリターなどの媒体を利用して効果的な情報発信に努める必要がある。 (情報発信)	・利用上支障がある施設については、再整備を検討する必要がある。 (整備) ・近畿自然歩道等が自然とのふれあいに資するように、適切な維持・管理体制を検討する必要がある。 (維持・管理) ・緊急時の避難経路など地域の利活用にあ資する歩道が望まれる。 (利用)
共通事項・現況総括	・伊勢市、鳥羽市、志摩市地域には海岸線を中心に歴史資源や眺望資源が点在し、施設の整備が行われ多くの人に利用されている。(施設の老朽化や過剰整備による景観への影響が見られる。) ・南伊勢町にはリアス式海岸地形、海跡湖や海岸植生、ウミガメの産卵地がある。(南伊勢町の動植物資源の保護と適切な利用が望まれる。)	・スポット的な観光(二見浦、安乗崎、大王崎、朝熊山園地)、登山(朝熊岳、青峯山)、信仰による利用(青峯山・朝熊岳、浅間山等)、イベントによる利用(島嶼部)、地域の方々の散歩がある。 －周辺の長距離自然歩道と連続していない歩道や連絡ルートが長い歩道がある。	－バスの本数が少ない(3～4便/日)、駐車場がないなどアクセスが不便なコースがある。 －比較的車の往来が多い車道(路側帯なし)を長距離にわたり歩かなければいけないルートがある。土砂崩れなど危険な箇所がある。 －近畿自然歩道は、環境省及び三重県のホームページで確認できるがHP上のルートと現地サインの示すルートに違いがある。資源が多数存在するが、HPや現地において自然の解説情報が少ない。	・近畿自然歩道は、1日単位できめ細やかにコースが設定され、コース間はバスルート等により連続しているが、ウォーキング60、各自治体が発行するウォーキングマップなどで同様なルートが設定されている。 ・社会情勢の変化(税の落ち込み、高齢化)する中で、限られた人手・資金を工夫(持ち出し)しながら、長距離自然歩道を何とか維持・管理している状況にある。
9.お伊勢さんを感じるみち	＋歴史文化資源(神宮神田等)をつないでいる。	＋「10.御塩づくりにふれるみち」等と連続する。 －利用は内宮、外宮に集中している。	＋スタート及びゴールが駅となっている。	－資源をつなぐためコースが蛇行、朝熊岳へは内宮からが近い。
10. 御塩づくりにふれるみち	＋歴史文化資源(夫婦岩等)をつないでいる。	・途中ルートが二股に分岐する(二見浦・音無山) －松下駅から先は歩道がとぎれる。 －利用は二見浦に集中している。	＋スタート及びゴールが駅となっている。 －ルートがわかりにくい、地図と異なるルートがある。	－類似の方向標識が多数あることや、分岐に標識がないためルートがわかりにくい。
11-A. 菅島と「潮騒」の舞台をたずねるみち①菅島灯台としろんごの浜を訪ねるみち	＋島特有の自然歴史資源(しろんご浜等)をつないでいる。 －一部の自然性の高い海岸までアクセスできない。 －自然性の高い山頂部はコースとなっていない。	－ルートは島の一部のみ。	・定期船でアクセスする。 －正確なルート地図や案内がない。	－ルート上にトイレ・東屋がない。 －使われていないルートは雑草が生い茂っている。
11-B. 菅島と「潮騒」の舞台をたずねるみち②「潮騒」の舞台・「鷹と蝶」の渡る神島を訪ねる道	＋島特有の自然や文化資源(小説の舞台)をつないでいる。 ・渡りの時期になるとアサギマダラやサシバ等が見られる。 －眺望のある監視所は、立入禁止のため残念である。		・定期船でアクセスする。	－集落をすぎるとトイレがない。
－. 答志島	＋海、山、集落があり、島特有の自然や歴史文化に触れられる。	・地域の人々の散歩利用がある。 －集落間が繋がっていない。	・定期船でアクセスする。 －麓に駐車場の要望がある。	－管理が行き届かない。(予算不足、高齢化)
12. 朝熊岳金剛證寺へのみち	＋伊勢神宮の奥の院。 －伊勢神宮の内宮からのルートではない。	＋連続している。 ・登山利用、信仰利用が多い。 －標識がわかりにくい。	＋スタート及びゴールが駅となっている。	
－. (朝熊山登山線)	＋伊勢神宮の奥の院。 －伊勢神宮の内宮からのルートである。	・登山利用、信仰利用。 －一部ルートが不明。	－登り口が駅から遠い。	－体系的な方向サインが整備されていない。
13. 舟神様「青峯山」をたずねるみち	＋古道を活用したルート －正福寺(山頂付近)～上之郷駅までルートの半分が舗装道路となっている。(別に沓掛山道あり)	・登山利用、信仰利用が多い。 －「英虞湾一望の横山をたずねるみち」までの連絡道が長い。	＋スタート及びゴールが駅となっている。	
14. 英虞湾一望の横山をたずねるみち	＋英虞湾の眺望は「ミシュラン・グリーン・ガイド・ジャパン」に掲載される。	－周辺の長距離自然歩道と連続していない。連絡ルートが長い。	－終点のバスの本数が少ない。	
15. 安乗灯台と文楽のみち	＋眺望地等をつなぐルートとなっている。 －舗装道路ルートが長く単調。	・安乗の眺望、白浜の海水浴・サーフィン利用が多い。 －安乗は、周辺の長距離自然歩道と連続していない。 －ルートがわかりにくい、地図と異なるルートがある。	－始点のバスの本数が少ない。 －歩道帯のない舗装道路は安全に利用できない。	－標識が老朽化している。
16. 大王崎灯台をたずねるみち	＋眺望地点、漁村等を結んでいる。	＋連続している。 ・大王崎に利用が集中している。 －危険な箇所がある。	－迷いやすい。	
17. 麦崎・磯笛のみち	＋自然の海岸、漁村等を通るルート。 －舗装道路ルートが長く単調。	＋連続している。	－迷いやすい。	－方向標識は逆方向に対応していない。
18. 御座・金比羅山から富士山をのぞむみち	－舗装道路ルートが長く単調。	－海を挟んだ対岸がゴールとなっている。	－集落では迷いやすい。	－方向標識は逆方向に対応していない。 －トイレや木製品の維持管理ができない。
19. 磯笛岬と五ヶ所湾探訪のみち	＋砂浜、磯場、岬など自然景観を楽しめる。 －大池の水辺に近づけない。	－海を挟んだ対岸がゴールとなっている。	－通行止めがある。 －車道との兼用区間があり危険。 －バスの本数が少ない。	
－. (浅間山登山線)	＋森林の景観や海への眺望など自然性が高い。	＋近畿自然歩道と連続する。	－バスの本数が少ない。	＋集落と高台を結んでいるので避難経路に利用できる。 －急な勾配の階段がある。
－. (相賀浦阿曾浦線)	＋森林、海岸植生、海跡湖、ウミガメが産卵する砂浜など自然性が高い。	＋近畿自然歩道間を結ぶルートとなっている。 ・地域の方により利用されている。	・一部険しい山道がある。 －バスの本数が少ない。	＋集落と高台を結んでいるので避難経路に利用できる。
20. 南伊勢町(旧・南島町)・親子大橋をめぐるみち	＋海の眺望。	－周辺の長距離自然歩道と連続していない。連絡ルートが長い。	－バスの本数が少ない。	－破損している施設がある。
21. 鶴倉半島展望のみち	＋海の眺望。		－バスの本数が少ない。	－不法投棄が多い。
22. 竈方集落をめぐるみち	＋海の眺望。集落の景観。		－バスの本数が少ない。	

※()内は近畿自然歩道以外 / ※＋は方針に対するプラス要因、・は方針に関わる事項 ーは方針に対するマイナス要因 / 網掛けは近畿自然歩道に関連する歩道事業